

**ヨウ素系うがい薬と新型コロナウィルス感染症について**

８月４日、吉村知事と松井市長による記者会見で、ヨウ素系のポビドンヨードを含有するうがい薬を用いることで「新型コロナウィルスの量が減る」もしくは「重症化を防ぐ」ということが発表され、市中ではイソジンガーグルをはじめポビドンヨードを含有するうがい薬が無くなる事態となっています。

薬局・薬剤師から、今回発表された事実についてきちんとお伝えし、**不必要なヨウ素系うがい薬の使用を控えていただくようご案内申し上げます**。

**【今回の研究で明らかになったこと】**

ホテル宿泊療養されている新型コロナウィルス感染症患者を対象に、ポビドンヨードのうがい薬で、１日４回４日間うがいをすると、唾液（つば）中のウィルスの量が減ることが確認されたというものです。



※　8/4大阪府知事会見フリップより

**【まだ分かっていないこと】**

ポビドンヨードのうがい薬を使用することで、唾液（つば）中の新型コロナウィルスのウィルス量は減っても、それが確実に感染拡大を予防することは証明されていません。また、そのことで新型コロナウィルス感染症の予防や重症化を防ぐことも証明されていません。

**【ポビドンヨードによるうがいの有効性と安全性について】**

ポビドンヨードは、細菌やウィルスに対して殺菌効果があることは事実です。しかしこれまでの研究では風邪の予防のために、60日間にわたり水とポビドンヨードによるうがいとを比較した結果、水でうがいすることで風邪は予防できましたが、水とポビドンヨードとの間では効果に差は見られませんでした。

このことからも、今回発表された結果は一時的には新型コロナウィルスの量を減らすことは出来るかもしれませんが、長い目で見た場合、本当に効果があるのかは、これからの研究結果を待つ必要があります。

一般的に、ポビドンヨードを含有するうがい薬の安全性は高いですが、長期間使用することで、甲状腺機能を障害させる可能性も指摘されています。また、口の中の正常な細菌も殺してしまい、粘膜も痛めることになりますので、不必要な使用は避けていただきたいと思います。